

森に住み地球と呼吸する

北海道初[※]
木造4階建てアパートメントハウス ※当社調べ

LAPEACE

土屋ホームは、持続可能な未来のために「TSUCHIYAみらいチャレンジ2022」を宣言。その第1弾として、脱炭素社会の実現へ向けて、環境共生住宅として中高層建築の木造化にチャレンジします。同規模の鉄骨やコンクリートのマンションに比べ、CO₂排出量を削減し、つくる過程においても環境負荷を低減。地球温暖化防止にもつながります。木の快適性、居住性を享受しながらオーナー様、入居者様が共にSDGs達成に貢献できる新たな木造建築物の誕生です。

LAPEACE【ラピス】

いつまでも優しく見守ってくれる空間であり、宝石のように煌めく未来の暮らしが共生する場所。環境に配慮した資産価値を約束する木造中層アパートメントハウス。

ラピスは高断熱・省エネ



ZEH-M (ゼッチ・マンション) Ready

年間の一次エネルギー消費50%の削減を実現します。

BELS (ベルス)

「ラピス菊水」では、5つ星、省エネ基準比50%のエネルギー消費量削減の評価を取得しました。



ラピスは高耐久・高耐震

★地震に強い構造

大規模建築物と同じ手法で構造計算するから安心。

★地震に強い接合部

大きな揺れに対して接合部が破壊されない技術を追求。

★地震に強い柱脚

地震に対する強さは在来工法の最大約5倍の引き抜き耐力。

★地震に強いボルト

通常の2倍の強度の特殊ボルトで更なる安全性を確保

木の特性を最大限に活かした、ワンランク上の高性能中層木造アパートメントハウス

Owner

M e r i t

Tenant



木造建築は通常、RC造の70~75%程度の重量 **30% 軽量化**

木造建築のための現地工事は、RC造の25~40%程度短い **25% 短工期**

木造建築はRC造と比較して10%程度安価 **10% 低コスト**

工事車両などの交通量を85%削減
近隣地域の渋滞などが減少 **85% 交通量減**

50% 省エネ

寒冷地における冷暖房エネルギーを50%削減
工事に必要なエネルギーも40%程度減少

100% カーボンストック

CO₂を建材として100%固定、地球温暖化対策に貢献

木造22年、鉄骨造34年、RC造47年
短期間で償却したい投資には有利に働く **50% 減価償却期間**

デザイン性 優しさ

木の素材を活かしたデザインは
ホスピタリティとの親和性がとりわけ高い

快適性 健康

木材特有の断熱性や調湿性により
発病率減少、健康的で暮らしに豊かさが

LAPEACE 菊水



Facade



Entrance

